

母子家庭で母の彼氏が常にいる家に居場所はなく
高校卒業後家を飛び出して就職。妊娠を機に退職した後、

『安心して。責任とるから』 と言ったパートナーは音信不通に。

思いがけない妊娠

一度の関係で妊娠。
気がついた頃には中絶は手遅れに。
相手の生徒とは
連絡がとれず、
家族も反対。

中学生の妊娠

DV 夫からの生活費はギリギリ、
4度目の中絶を強要されるが
経済的に困難で病院に行けないまま陣痛が。

「出産して 夫に見つかったら 赤ちゃんが 危ない」

DV で妊娠

頼る人も、家もない。 そんな妊産婦を支える プロジェクトです。

赤ちゃんの命を守る
ことはもちろん、
お母さんの生きる力を
支援することも大事。

「私は助産院を長年やってきて
出産の現場に近かったのですが、それでもそういう妊婦さん
がいらつしやるという現実
は、なかなか見えていなかった。
それくらい表に出にくい
問題だと思っています」とい
うのは、課題を抱える妊産婦
を受け入れている施設「小
さいのちのドア」の代表、永
原郁子さん。

「家庭環境で就職できず、風俗
で働いて妊娠して職を失った
方もいらつしやいます。他の
方もそうですが、妊娠しなけ
れば自分でなんとかなった人
生かもしれないが、妊娠し
たことでどうにもならなくな
る。もちろん安心安全な出産
もサポートが必要ですが、出
産して終わりでもない。そこ
から彼女たちは母親として自
立して生きていかなければな
らないから」。

兵庫県ではふるさとひょうご
寄附金を活用して課題を抱え
る妊産婦への支援をさらに進
めています。



本誌内巻等については
お問い合わせください。

兵庫県のこんな取り組みを応援ください。

みなさまの寄附でできる4つの応援

安心して出産を。 / 就職に役立つ資格を。 / 新しい生活の準備を。 / 産後も頼れる居場所を。

予期せぬ妊娠等で、誰にも相談できずに思い悩み、住む家やお金がなくて困っている方々が安心して出産でき、夢に向かって歩みだせるような応援プロジェクトです。

心中以外の子どもの虐待死のうち、半数以上が0歳で亡くなっています。これら事案の母親の多くは、妊婦健診未受診など妊娠中に適切な支援が受けられておらず、関係機関とも繋がっていませんでした。また、県が実施する24時間の妊娠SOS相談事業には、毎日多くの相談が寄せられ、その中には、予期しない妊娠等によって、その後の生活に困難な課題を抱える妊産婦も少なくありません。

そこで、兵庫県ではこうした妊産婦に対し、早期発見と必要な支援につなげるため、昨年11月に部局横断のプロジェクトチームを設置し、必

要な支援策を検討。今年度6月から新たに予期せぬ妊娠等に悩み住む場所もない妊産婦を受入れて自立に向けた支援を行う施設の運営を行っています。支援をさらに強化するため、ふるさとひょうご寄附金を活用したプロジェクトを立ち上げました。

予期せぬ妊娠など課題を抱える妊産婦に対し、自立まで安心して過ごせる居場所の提供に加え、新たに出産費用の支援や、就労のための資格取得支援、自立生活をスタートする際の準備支援、さらには、施設から出ても頼れる居場所づくりなど、妊産婦の安心の確保と夢の実現を応援します。

ふるさとひょうご寄附金でできる、4つの応援

1 安心して出産を。



頼れる人もおらず、所持金がないなど課題を抱える妊産婦は出産費用を負担することが困難なため、出産育児一時金を超過した部分を支援します。

2 就職に役立つ資格を。



自立には就労が欠かせません。就職に役立つ各種資格取得や高等学校卒業認定試験合格のための講座受講費用などを支援します。

3 新しい生活の準備を。



産前・産後に仕事をしておらず所持金もないことから、生活家電等の購入が困難となるため、自立時に必要となる生活必需品の購入費用を支援します。

4 頼れる居場所を。



頼る人のいない妊産婦の実家替わりとなるような家庭（妊産婦ホストファミリー）を募集し、週末を実家のように過ごせるような場所を提供します。

寄附金のお申し込み

事業の詳細、申請方法などは、ふるさとひょうご寄附金のホームページをご覧ください。

<https://web.pref.hyogo.lg.jp/ac02/kihu01.html>

ふるさとひょうご寄附金
HPはこちら▶



兵庫県は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。



【企業・法人・団体のみさまへ】

兵庫県ではふるさとひょうご寄附金を活用したプロジェクトの他にも、公民連携で課題を抱える妊産婦支援を行っております。支援メニューの登録など詳しくは特設サイトをご覧ください。

特設サイトはこちら▼

